

Capo. ♭ 1-マール Em

古都の雪

^{Em}赤いから傘 ^D雪 ^G降るまじ ^{Am}

^G少ない訪れる人 ^D

^{Em}焦茶色 ^Dの木造 ^Gの間 ^{Am}

^C着物で ^G歩く後ろ姿 ^{B7}みえる ^{Em}

^{Em}随分前 ^{A7}の儼い記憶 ^D突然 ^G

^{Em}よみがえり ^{A7}苦しくなる ^D ^G

^G二十歳 ^Cを ^D過ぎた時 ^G

^G別れたばかり ^Cのとき ^D ^G

鮮明に思い出す

昨日のことのように

積もらない雪 それでも激しく

冷たい風に吹かれて

焦茶色の木造の下

竹やらいが二の目に染みる

随分前の儼い記憶突然

よみがえり苦しくなる

あの時このように

一人で歩いた道

はっきり思い出す

昨日のことのように